

Sustainable Report No.145

くさい海 くさくない海



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

■ 課題の現状／経緯／影響

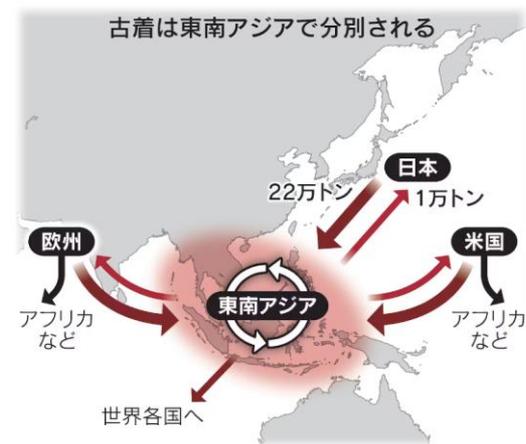
- 合成繊維から発生するマイクロファイバーは海洋汚染を起こす。世界最大級の古着市場があるガーナの首都アクラの海岸では、不法投棄された**衣類の山が刺激臭を放っている**。
- **先進国から寄付などの名目で押し付け**られて送られてくる衣類の40%以上は使用されずに廃棄される。それによって行き場のない衣類が不法投棄され、上記の問題になっている。
- 水路をつまらせ、海やビーチを汚し、現地の人たちの生活環境を圧迫する。さらに異物となった服は蚊の発生源ともなっており、**「貧困の病」とも呼ばれるマラリアを引き起こしている**のだという。

■ ガーナの首都アクラの海岸



出典：[Livhub](#)(運営：ハーチ株式会社)

■ 途上国向けの古着流通



出典：[日本経済新聞](#)

▶NEXT：フランス「ファストファッション罰則法」可決

■ 実行者／解決方法／残る課題

- 数々のファッションブランドを生み出してきたフランスは、環境問題を業界や消費者だけの問題とせず、社会問題として国をあげて**ファッション業界が悪習慣から脱却できるような施策**を重ねている。
- 2020年2月、世界で初めて**資源循環と廃棄物削減を目指した循環経済法**を交付し、売れ残り衣類の廃棄を禁止。さらに2024年3月14日に、**ファストファッション罰則法**が国民議会で可決された。
- 制限対象者は、**短期間で大量生産した商品を扱うEC事業者**に焦点が当てられ、国内に実店舗を持つブランドは除外される。このようなファストファッションの定義や線引きに、反発も生まれかねない。

■ ファストファッション罰則法案のポイント

ファストファッション広告の禁止

低価格の輸入品に対して罰金

1点あたり5ユーロ（約813円）

参考：[WWD](#)

■ ファストファッションの特徴

最新の流行をとりいれ低価格で販売

短いサイクルで企画から生産まで実施

大量生産によってメーカーは利益を確保

参考：[ELEMENIST](#)

▶ NEXT : ファステナブル・ファッションへ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- **販売率の劣る国内ブランドを守る**ために、生産量と拠点が論点になっているのは、一般的に生産効率を求めるビジネススキームと相反するのではないか。
- そもそも環境負荷の低い製造方法に変わり、**大量生産による衣服ロスをなくす受注販売**など、「ファステナブル・ファッション」が理想である。
- 事業者は、**長く着られる丁寧な服づくり**や、**自社製品のリペア**を行い、顧客との長期的な関係を維持することで、根本的に大量廃棄の解決に貢献できる。

■ 洋服が販売から廃棄されるまでの流れ



出典：左右ともに環境省

■ 循環型モデルで廃棄のない世の中へ



本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- Livhub（ハーチ株式会社）, 「ファストファッションの墓場で嗅いだ異臭を、わたしは一生忘れない。」, 2023年10月16日
(<https://livhub.jp/news/sustainability/ghana-fastfashion-dumping-ground.html>)
- 日本経済新聞, 「古着人気、高値でも供給に限界 背景に流通の「迷宮」」, 2023年11月1日
(<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB201340Q3A021C2000000/>)
- WWD（株式会社 INFASパブリケーションズ）, 「フランス下院、ファストファッション罰則法案を全会一致で可決 「シーイン」などが対象に」, 2024年03月26日 (<https://www.wwdjapan.com/articles/1784130>)
- ELEMINEST（株式会社トラストリッジ）, 「ファストファッションとは？ 深刻な問題と改善に向けての世界的な動き」, 2024年4月11日
(<https://eleminest.com/article/3369>)
- 環境省, 「SUSTAINABLE FASHION これからのファッションを持続可能に」, 2024年7月25日参照
(https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。